

向笠地域づくり協議会『体育委員会』

加盟人数 向笠地区在住の住民
(約4,000人)
代表者 三浦 靖男
創立年 平成28年4月

これまで向笠地区自治会連合会傘下の委員会であったが、組織改編に伴い発足した向笠地域づくり協議会の健康福祉部に所属する体育委員会として新たなスタートを切った。

（組織の変遷）

昭和45年、向笠地区体育クラブ発足。自治会と公民館が連携して、ソフトボール、バレーボール、水泳、陸上、卓球、庭球、剣道を行う。

昭和51年、体育委員会と名称を変更し、住民の心身の健全育成と親睦を目的に、ソフトボール、バレーボール、陸上、卓球を行う。

平成元年、向笠地区自治会連合会に向笠地区自治会体育委員会が位置付けられ、スポーツの振興と住民の健康増進、親睦を目的に各事業を行う。

平成11年、これまでの各種体育事業を体育祭、ソフトボール、バレーボールの3つに絞って実施するようになる。

平成15年、体育委員会を「体育祭部会」「ソフトボール部会」「バレーボール部会」の3部制にして各事業を行う。

平成27年、向笠地区自治会連合会が、体育祭の存続について協議した結果、一時休止となる。

平成28年、向笠地域づくり協議会が、休止中の体育祭を中止と決定する。実施事業は主にソフトボール、バレーボールとなる。

【現在の活動状況】

- 目的 住民のスポーツの振興、健康の増進と親睦・交流の促進
- 役員 委員長（向笠地域づくり協議会理事）、副委員長、会計、バレーボール部長、ソフトボール部長
- 委員 向笠地区11自治会から選出されたバレーボール委員11名、ソフトボール委員11名の計22名
- 運営協力員 前年度委員及び役員経験者で、ボランティアで大会を支えるスタッフ

【現在の活動状況】

- 部会の開催 大会の事前打合せ、諸準備
- ソフトボール大会
5月に向陽調整池（通称サンボス）を会場に開催し、各自治会を単位にチームが出場する。



- 男女混合バレーボール大会
6月に向陽中学校を会場に開催し、各自治会を単位に十数チームが出場する。



- 向陽ブロック球技大会への参加
8月に向陽中学校で開催する男女混合バレーボール大会に、6月の大会で優勝、準優勝、3位の3チームが出場する。大藤地区、岩田地区のチームが対戦相手となる。
- ジュピロ・メモリアルマラソンへの協力（11月）
- その他 卓球大会（10月）
向笠バレーボール交流会（2月）